



空港分野におけるCO₂削減に関する国の検討会への参加

「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向け、国土交通省航空局は空港の脱炭素化に向けて空港のCO₂削減・再エネ拠点化の方策を検討するため、「空港分野におけるCO₂削減に関する検討会」を立ち上げ、その第1回目の検討会が本日開催されます。当社は、本検討会にオブザーバーとして参加することとなりました。

当社グループは、かねてより環境事業に取り組んでおり実績を上げておりますが、今後この取り組みを更に加速し更なるCO₂削減を進め、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

国土交通省航空局ホームページ

「空港の脱炭素化に向けて～空港のCO₂削減・再エネ拠点化の方策を検討します～」

https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku09_hh_000160.html

(参考) 当社のCO₂削減に向けた取り組み

○社を挙げた環境事業の推進

当社は国内12空港、海外2空港に空港機能施設を有しており、これらの施設を中心とした再エネ化によるエコエアポート化の検討や、新たに水素、燃料電池を活用した分野への展開、さらには当社の長期的なCO₂削減計画策定などに取り組むため、「環境事業推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、検討を開始しています。

○太陽光発電の導入

2013年に自社の遊休地を活用した太陽光発電への参入を皮切りに、現在羽田等2空港と空港外3カ所に太陽光発電施設を保有し、年間約3,000トンのCO₂を削減しています。

このうち羽田空港の国内航空貨物ターミナル上屋には、メガワット級の自家消費型太陽光パネルを設置しましたが、この際国内空港への投資で初めてとなるグリーンボンドを活用した資金調達を行いました。

「当社リリース記事：羽田空港国内貨物ターミナル地区 太陽光発電設備の導入」

<https://www.afc.jp/wp/wp-content/uploads/media/taiyoukouhatudennsetubi.pdf>

【羽田空港国内貨物ターミナル施設（太陽光パネル設置、LED 照明への更新を実施）】



【成田市・本三里塚太陽光発電施設】



【鹿児島空港第一・第二格納庫（太陽光パネル設置）】

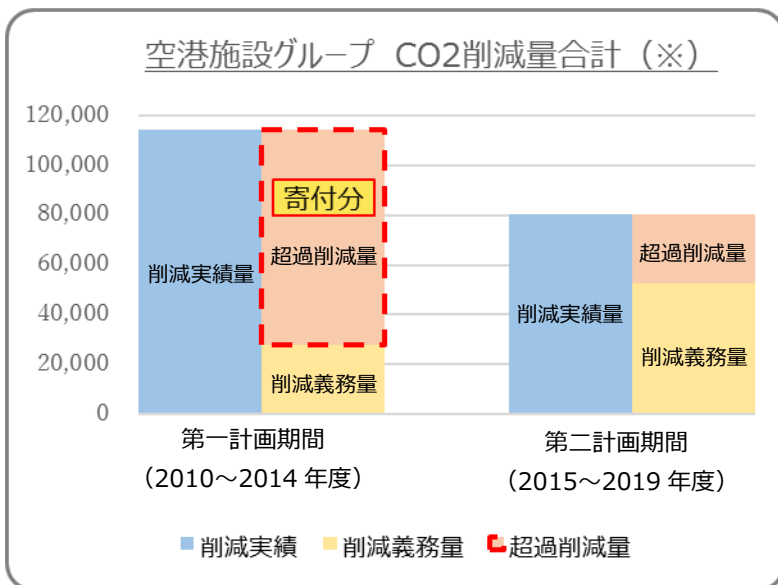


○東京都条例に基づくCO₂削減

第一計画期間（2010～2014 年度）に目標値を上回る削減量を達成し、超過削減量に係るクレジットを都に寄付し、表彰を受けるなどの成果を上げています。また第二計画期間（2015～2019 年度）においても、温室効果ガス削減義務を上回る削減量の達成しております。

【東京都の定めるCO₂削減義務化における、当社の削減状況】

単位：t



	第一計画期間 (10～14 年度)	第二計画期間 (15～19 年度)
削減実績量	114,425	80,339
削減義務量	27,958	52,355
超過削減量 ※注	94,831	27,984

「当社リリース記事：東京都へのクレジット（CO2 超過削減量）寄付」

<https://www.afc.jp/wp/wp-content/uploads/media/b168b3fab71e5401145f2a95b62d5ea9-1.pdf>

会社概要

空港施設株式会社

AIRPORT FACILITIES CO., LTD.（略称 AFC）

設立：1970年2月

代表取締役社長：甲斐 正彰

本社：東京都大田区羽田空港 1-6-5 第五総合ビル

事業：不動産事業、熱供給事業、給排水事業 など

◎ホームページ：<https://www.afc.jp/>

◎当社プレスリリースメール配信サービスの登録はこちら

<https://www.afc.jp/ir/mailmag.html>



【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社 広報室

電話：03-3747-0251（9：00～17：00）

※土日祝日を除く

以上